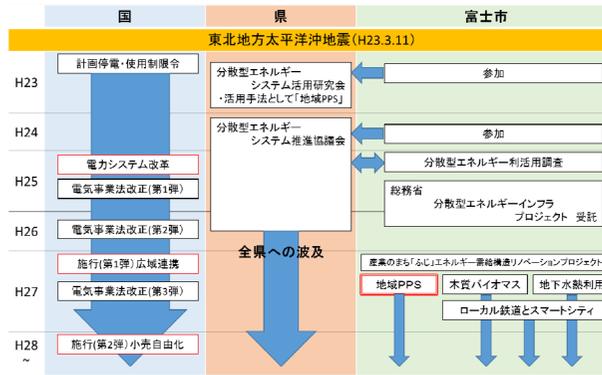


# 富士市版地域PPS制度報告書(平成28年3月) 概要版

## 1 研究報告の背景と目的

エネルギー分野は、現在、変革期にあり、工業都市である本市は、影響を多く受けることが予想されますが、一方、都市活力を向上させる好機ともなえます。

これまでの取り組みから、知見と実行力をもち、市と協働できる“発電・小売を行う電気事業者”(地域PPS)が必要不可欠であることが随所で示されました。このため、研究会を発足し、**地域PPSの意義と条件**を明確にしました。



国・県・富士市の取り組み

## 2 富士市の特性

エネルギー分野に関し、本地域には次のような特徴がありますが、このような**特性を活かした取り組み**を進めていくことが必要です。

<本市の特徴>

- ・エネルギー多消費産業の集積
- ・大規模発電施設立地に不適
- ・東西の送電網の末端に位置
- ・都市ガス供給拠点の存在

<他地域の例>

- ・浜松新電力(静岡県浜松市)
- ・中之条電力(群馬県中之条町)
- ・やまがた新電力(山形県)

## 4 地域PPS制度に期待する効果

期待される取り組みと各主体のメリット

富士市が期待する効果	地域PPSが期待する効果
<b>①スマートシティの構築</b> ・市内エネルギー利用の効率化 ・省エネルギービジネス活性化	<b>①ノウハウの有効活用</b> ・ <b>地域特性を活かした事業</b> ・ <b>専門性</b> を活用した事業
<b>②望ましいエネルギー施設の整備</b> ・分散型エネルギー施設整備 ・クリーンエネルギー利用促進	<b>②地域開発等への参加機会増加</b> ・スマートシティ等、長期安定した顧客の確保 ・ノウハウの有効活用
<b>③エネルギーの地産地消の促進</b> ・地域資源の活用 ・遠隔地の災害に対する強靭化 ・地域内資金循環の構築	<b>③信用の向上</b> ・他事業者と比較した優位性・競争力の向上
<b>④安心できる電力会社の選択肢提供</b> ・トラブルへの迅速丁寧な対応 ・省エネルギー相談と積極的提案活動	

<b>地域PPSとの連携・支援の意義</b>	「富士山のふもとしあわせを実感できるまち 富士」を実現するための重要な施策 ○都市の魅力向上 ○産業基盤の充実 ○行財政の強化
------------------------	--

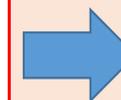
魅力あるまちを構成する一つの要素に

## 5 地域PPS指定の基準(案)と今後の支援策

指定の基準(案)

項目	基準
地産電力活用	○地産電力調達率は65%以上 ○電力地域供給率は60%以上 (中長期的にいずれも70%を超えること) ※地産・地域の定義は“静岡県内”
エネルギーの有効活用とクリーンエネルギーの利用拡大	○顧客の省エネルギーの取り組みを促進する体制が構築されていること ○電力調達量に占めるクリーンエネルギーの比率が50%以上
地域課題の解決	○自治体に取り組んでいく会議等に積極的に参加し、電力会社としての協力をしていくこと
経営の安定性	○連結会社を含めた財務諸表、燃料調達等が、安定していること
その他	○できる限り事業者の情報を集め、総合的に判断すること

**支援策の制度化**



- ・市民への周知
- ・行政等の率先行動
- ・連携事業の具体化